

2017年10・11月 第28号  
月刊  
いきいき道政報告

日本共産党 道議会議員

佐野 弘美

発行

日本共産党  
佐野弘美事務所  
北区北20西5 2-27

Tel 011-790-6411  
Fax 011-790-6412



一般質問をおこなう佐野道議 9月25日

10月16日から実施されている陸上自衛隊の「北部方面隊総合戦闘力演習」は、人員約1万7千人、車両約3千2百両が参加する極めて規模の大きい地上訓練で、28市町村において学校グラウンド跡地や民有地などが演習に使用され

ます。  
「場外訓練などで北海道が軍事基地化するような事態に対し、市町村まかせではなく、道が反対すべき」と追及した佐野道議に対し、知事は「国の責任で安全管理の徹底が図られる必要がある」と道の責任を放棄し、「北海道の良好な訓練環境を一層活用する」とした閣議決定に追従する、驚くべき答弁を行いました。

佐野道議は、道内の6分の1もの市町村において、住民の目に触れる場所で、地对艦ミサイルの発射訓練などが行われている事態や、自衛隊の演習場外訓練の要請に再検討を求めた市町村もあることを指摘し、知事に対し「国に安全管理をお願いするだけでなく、実態を積極的に把握して道民に情報提供すること、何よりも北海道の軍事基地化に反対する姿勢を明確にすべき」と強く求めました。

# 演習場外訓練に反対を

9月25日、佐野弘美議員は道議会本会議で一般質問を行い、陸上自衛隊が道内各地で実施している大規模な演

習場外訓練などについて、知事の姿勢を質しました。

## 北海道の軍事基地化に反対を

# 三定道議会の一般質問

佐野弘美議員は、9月25日の道議会本会議の一般質問で、前述の「自衛隊の場外訓練」以外に、「生活保護の冬季加算」・「カジノ」・「奨学金」・「教職員の働き方」など多岐にわたる質問を行いました。

## 生保の冬季加算

### まさに命綱

佐野道議は、2015年に冬季加算が削減されたため、受給者が暖房費や食費を切り詰めている実例を紹介し、道は削減を見直して健康で文化的な最低限度の生活」を保障するよう受給者を支援すべきと迫りました。

来年度の国の基準見直し  
が、本道の実情を踏まえるよう要望している」との知事答弁に対し、佐野道議は、受給者の生存権にかかわる冬季加算増額」を国に要望する

よう強く求めました。

## カジノの悪影響

### ギャンブル依存症

佐野道議は道立精神保健福祉センター所長の報告を引用し、ギャンブル依存症が「深刻な病気」であることへの、知事の認識を質しました。



知事は、「ギャンブル依存症は治療を要する病気であり、その認識を広く道民に周知する」と答えるものの、「ギャンブル依存症などの社会的影響に対策が盛り込まれることを条件に「IR実施法」に期待する答弁を行いました。

## 給付型奨学金

### 奨学金地獄の解消

ここ数年、日本の公的教育費が、OECD加盟国の中で最下位に定着しています。特に大学などの高等教育で低く、OECD平均の約半分(GDPの3.4%)で、そのしわ寄せが、大学生を奨学金地獄で苦しめています。

佐野道議は、来年度から本格実施される国の給付型奨学金制度について、「規模と給付額ともに絶対的に不足」と知事の見解を質しました。「大学生約60万人の内、住民税非課税世帯の大学生6万人だけが対象で、予算は2万人分、給付

額は2〜4万円に過ぎない。国に早期の拡充を求めるべき」との求めに、知事は「知事会とも連携しながら国に制度の拡充を提案・要望している」と答えました。

## 教職員の働き方

### 業務量削減と定数増

佐野道議は、「道教委が実施した公立学校の教職員勤務実態調査の結果、週60時間以上の過労死ラインを超える教諭が、中学校では47%に達している」と指摘し、教育長の認識を質しました。教育長は「健康に働ける環境整備が喫緊の課題」と答えました。

佐野道議が、長時間超勤の解消には「業務量削減」と「定数増員」が不可欠と求めたのに対し、教育長は、「部活動休養日の完全実施」と「教職員の定数改善を国に要望する」と答えました。

# 北朝鮮のミサイルと核実験

9月20日、宮川潤議員は代表質問で北朝鮮の暴挙を糾弾しつつ、知事の政治姿勢を質しました。

北朝鮮は、今年だけでも14回におよび弾道ミサイルを発射し、8月29日と9月15日には北海道上空を通過し、Jアラートにより携帯電話が鳴り響きました。

北朝鮮の行為を「重大かつ深刻な脅威であり、国に対し毅然とした対応を求める」と答弁する知事に対し、宮川道議は「軍事的衝突を回避する



質問する宮川道議  
9月20日

ために、日本政府が、米朝間が直接対話に踏み込むよう働きかけるべき」として、知事の呼びかけを求めました。

宮川道議は、「国の毅然とした対応を」と繰り返す知事に対し、再質問で対話を拒否し制裁を優先する首相への懸念を表明し、再々質問では、変質した安保法制の下で国民が知らぬ間に自衛隊が米軍艦船に給油を行っていて、偶発的衝突が起これば戦争当事国になつてしまう事態を指摘し、米朝直接対話への呼びかけを求めましたが、知事は衝突回避や道民の安全も、国に任せる姿勢に終始しました。

## 廃線対象地の声を聞け

宮川潤議員は代表質問でJ R 北海道の路線廃止問題で、関

係55市町村をほとんど訪れず、国への財政支援も求めない知事の姿勢を質しました。

宮川道議は、「知事は、私自身先頭に立って国に強く求めていく」と繰り返すが、知事自ら沿線自治体に行き、現場を直接体験する必要がある。当初見込んだ経営安定基金の

## 鉄道復旧基金を提案せよ

真下紀子議員は、10月4日の知事総括質疑に立ち、道民の移動権、交通権を奪うJ R 北海道の路線廃止問題を質しました。

真下道議は、台風や高波で被災して、長く不通になっていく日高本線は「ただちに無

運用益と現状の差額を国に要求すべきだが、知事は運用益の差額をいくらかと認識しているのかと質しました。

知事は全首長と意見交換している」と直接体験の必要性を認めず、国に対する「運用益差額の補填要求」には言及しませんでした。

条件で復旧すべき」とし、「鉄道復旧基金」などの具体的提案なしに復旧はありえないと質しました。

「地域の思いを受け止める」との知事答弁に、道は「新しいスキーム」を国に提案すべきと強く求めました。

真下道議は、「公共交通は採算性だけで切り捨てられない。鉄路を守るための道の主体性はあまりにも不十分」と、厳しく指摘しました。



質問する真下道議  
10月4日

# 道政報告

## 集いで報告と懇談

9月17日、北区の集会に参加し、道政報告を行いました。

約300人が参加し、清水ただし衆院議員が記念講演を行った、新琴似北公園の集いで道政報告を行いました。

佐野弘美議員は、JR、原発、カジノ、教職員の超勤など、これまでの道議会における質疑応答を紹介しました。知事の回答の多くが、最終的には「国に要請いたします」となることにふれ、地方議員と連携して地方の声を国政に届けられる国会議員の必要性を訴えました。

各ブースや観客席で、参加者たちとの交流を重ねた一日となりました。



報告を行う佐野道議＝9月17日

## JRの再生と地域の発展

9月16日、北区・東区の住民が開催したJR問題の学習会に参加しました。

「JR北海道問題を考える学者弁護士の会」代表の、宮田和保道教育大名誉教授が「JRの再生と地域の発展」と題して講演を行いました。

JR会社間の著しい格差を生みだした「分割民営化」を正す必要があること。公共交通による移動は基本的な権利であり、国はその権利を保障する責任があること。赤字を理由にしたJRの廃線は地方切り捨てであること。などを、参加者とともに再確認しました。

佐野弘美議員は、共産党道議団の幾度にもわたる議会質問と、主体的な行動に欠ける高橋知事事の姿勢について言及し、引き続き取り組み決意を表明しました。

### 電子タバコも危険です！

最近販売され始めた電子タバコは、煙や匂いが少なく、他人に気兼ねなく吸えるイメージがあって、売れ行きが好調のようです。

広告は受動喫煙被害にあまり触れず、ネット上では『禁煙場所でも吸える』と評判ですが、煙や匂いが少ないので有害物質に気づかずに暴露してしまう危険があります。週刊金曜日の4月21日号(1133号)の特集によると、電子タバコの呼出煙(喫煙者が吐き出した煙)には、紙巻きタバコの呼出煙と同じようにニコチンや発がん物質が多く含まれており、化学物質過敏症の原因にもなるそうです。電子タバコは決して、受動喫煙対策にはなりません。

喫煙によって解消するストレスは、喫煙行為が作り出した体内のニコチン切れのストレスだけです。ニコチン依存は病気であるという認識の下、抜本的に対策を強めるべきです。

喫煙率もがん死亡率も、依然として高い北海道では、特に待ったなしの課題です。

### **電子タバコも危険です！**

最近販売され始めた電子タバコは、煙や匂いが少なく、他人に気兼ねなく吸えるイメージがあって、売れ行きが好調のようです。

広告は受動喫煙被害にあまり触れず、ネット上では『禁煙場所でも吸える』と評判ですが、煙や匂いが少ないので有害物質に気づかずに暴露してしまう危険があります。週刊金曜日の4月21日号(1133号)の特集によると、電子タバコの呼出煙(喫煙者が吐き出した煙)には、紙巻きタバコの呼出煙と同じようにニコチンや発がん物質が多く含まれており、化学物質過敏症の原因にもなるそうです。電子タバコは決して、受動喫煙対策にはなりません。

喫煙によって解消するストレスは、喫煙行為が作り出した体内のニコチン切れのストレスだけです。ニコチン依存は病気であるという認識の下、抜本的に対策を強めるべきです。

喫煙率もがん死亡率も、依然として高い北海道では、特に待ったなしの課題です。